

平成23年度 第3回当別町地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：平成24年3月27日 10:00～10:50

場所：当別町役場第二庁舎 2階会議室

出席委員 18名、欠席委員 4名、オブザーバー 2名、随行者 2名

1 開会（司会：増輪事務局長）

2 町長挨拶

本日は年度末でお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

また、日頃より当別ふれあいバスに対して多大なご尽力をいただいていることを重ねてお礼を申し上げます。平成23年度におきましても大体収支が合うような運行となっていることも皆様のご支援とご理解の賜と思っています。本日委員の改正期ということで、皆様方に改めて委嘱状を交付させていただきます。地域を支えるバスの運行は多くの方が注目している事業でありますので、皆様方のますますのご協力をお願いしたいところであります。本格運行に入ってまいりましたが、皆様方の協力をいただき進めてまいりたいのでよろしく願いいたします。

3 委嘱状の交付

町長から出席者全員（18名）に委嘱状を手交する。（副町長以下町職員は紹介のみ）

欠席者（4名）については後日事務局から交付する。

4 会長・副会長の指名

司会

会長については、町長が指名することとなっているので、よろしく願います。

町長

会長には引き続き近藤副町長を指名する。

司会

町長につきましては別の公務があるので、ここで退席させていただく。町長退席

副会長の指名ですが、副会長は会長が指名することとなっているので、よろしく願います。

会長

副会長には引き続き、北海道運輸局札幌運輸支局 新保主席運輸企画専門官を指名する。

5 監査委員の選任

会長

監査委員の選任について事務局から説明をお願いします。

事務局

監査委員については、委員の互選となっており、2名選出することとなっているので、よろしく願います。

会長

事務局から説明があったが、どのように選出したら良いか意見を伺う。

土肥委員

会長若しくは事務局に腹案があれば教えていただきたい。

会長

会長若しくは事務局に腹案があればということですが、事務局に腹案があればお願いします。

事務局

事務局の腹案として、引き続き、山下委員、山内委員にお願いしたい。

なお、山内委員におかれましては、本日欠席となっているが、事務局で事前に内諾をいただいていることも申し添える。

会長

事務局から腹案として山下委員、山内委員にお願いしたいということだが、異議はないか。

(異議なし)

監査委員は山下委員、山内委員に決定。

## 6 報告

### (1) 当別ふれあいバス 平成24年2月までの実績について

事務局(熊谷企画課長)

資料1-1、1-2、1-3、1-4に基づき説明。

資料1-2 平成23年4月時点で平成22年度と比較して2千人程度減少し、本格運行のスタートとしては厳しい状況であったが、その後、若干持ちなおし3月末には130千人を達成する見込み。

運行収入データについても4月は昨年と比較して20%マイナスの300千円程度減額し、厳しいスタートとなったが、10月くらいから回復し3月末には概ね10,000千円に到達する見込み。

資料1-4 この冬については、平年より3メートルも多い降雪量となっている。その影響で187便の運休と、40便の遅延運行があった。

以上。

質疑なし

承認

### (2) 平成23年度 収支決算見込について

事務局(熊谷企画課長)

資料2に基づき説明。

収入については、概ね予算額どおりであるが、広告収入においては、厳しい情勢ということもあり、894千円に対し、330千円程度となっている。

支出については、運行事業費35,084千円に対し、31,587千円となっており、この差額については地域公共交通確保維持改善事業補助金の3,497千円となっている。広報公聴費については、JR学園都市線のダイヤ改正を見越したものとしていたが、ダイヤ改正が6月以降となることから、次年度に実施することとした。予備費は不測の事態に備えて全体経費の約1割を計上しているが、本年度については支出がない。積立金については予算どおり執行する。次年度繰越予定額は

7,928,272 円となっている。

以上。

質疑なし

承認

### (3) 利用促進事業の実施結果について

事務局（熊谷企画課長）

資料 3 - 1、3 - 2 に基づいて説明。

「運賃無料キャンペーン」

結果として平成 22 年度と比較し、平日 543.0 人が 590.5 人に、土日祝 93.1 人が 119.7 人に、合計で 395.5 人が 407.4 人に増えた。

また、利用者だけではなく、収入においても効果があったと考えている。キャンペーン以降昨年と比較して収入が増えており、一定の効果があったものとする。

「バスまつり 2011」

天候が悪く、1 時間切り上げて終了した。同時開催のさわやか駅伝も中止となる厳しい条件のなか、約 1,500 人に参加していただいた。各バス事業者の協力を得てバスの試乗体験の実施。電気自動車リーフの試乗体験やバスの乗り方教室など運輸局さん等のご協力を得ながら実施した。

以上。

質疑なし

承認

## 7 議事

### (1) 平成 24 年度事業計画・予算案について

事務局（熊谷企画課長）

資料 4 - 1、4 - 2 に基づき説明。

「平成 24 年度当別ふれあいバス運行事業計画（案）」

運行回数・運賃等々については大きく変わっていない。

ふれあいバス運行事業計画のほか当別町の事業として、バスまつりや公共交通誘導策事業を用意している。併せて 3,264 千円の事業としており、協議会と連携して取り組んで参りたい。

また、6 月 1 日に電化開通式が行われる予定でこれに伴う町の予算化もしている。

「平成 24 年度予算案」

収入については前年度繰越金を含めて 43,630 千円としている。

支出については運行事業費が 28,543 千円で、本来の運行経費 35,750 千円から地域公共交通確保維持改善事業補助金 7,207 千円を差し引いた額となっている。広報公聴費ではバスマップ作成経費として計上している。予備費については、全体経費の 1 割程度を計上する。積立金については、9,947 千円を運行のリスク回避のために計上する。支出合計 43,630 千円としている。

積立金については、平成 23 年度、平成 24 年度の累計で 12,407 千円となる。

以上。

質疑なし

提案どおり決定

## (2) 平成23・24年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

事務局（熊谷企画課長）

資料5-1、5-2に基づき説明。

地域公共交通確保維持改善事業補助金を貰いながら当別ふれあいバスの運行をすることとなった。公費が入っているものについては、事業評価をやらなければならないとなっている。地域内フィーダー路線について補助金をいただいていることからこの部分について評価を行う。

平成23年度の評価

事業実施の適切性については、各系統とも運行計画に対し計画どおり実施されたということでA評価とした。目標・効果達成状況については、実績が目標に達していないことと、住民の満足度の把握が出来ていないことを踏まえC評価とした。

平成24年度評価は大雪等により運休などがあったが概ね計画どおり実施され、23年度と同様の評価となる。

以上。

質疑なし

提案どおり決定。

## (3) 今後のスケジュールについて

事務局（熊谷企画課長）

資料6を基に説明。

6月には平成23年度の事業報告・決算報告と平成25年度フィーダー計画の策定。

7月にはJR電化に伴うダイヤ改正の協議。

3月には平成25年度事業計画・予算案と平成25年度フィーダー計画の評価。

以上のスケジュールで予定している。

質疑なし

提案どおり決定。

## 8 その他

事務局（熊谷企画課長）

本日、委嘱状を交付させていただいたが、新年度に入って人事異動・役員改選等により委員の変更があったら、事務局に連絡をいただきたい。

## 9 閉会（近藤会長）